

2013 年第 3 四半期： コモディティ化が進む Android マルウェア

(2013 年 11 月 11 日ヘルシンキ発 - フィンランド本社発表資料抄訳)

エフセキュアが公開した最新の脅威レポートでは、脅威は依然として複雑化しています。

最新の 2013 年 7～9 月のモバイル脅威レポートによると、2013 年第 3 四半期には、エフセキュアセキュリティラボにより、259 の新しいモバイル脅威のファミリーや既存ファミリーの亜種が検出されました。そのうちの 252 種が Android また 7 種が Symbian で、その数は 205 の脅威のファミリーや亜種が発見された第 2 四半期よりも増加しています。

Android マルウェアのコモディティ化におけるもう 1 つの進展として、7 月のレポートでは、正規の Android アプリに悪質なコードを挿入するプロセスを簡素化する新たなツールキット、Androrat APK binder の存在が報告されました。また、Android マルウェアの複雑化を示す証拠として、今やモバイル脅威の 5 件中 1 件がボットであることが、同レポートで明らかになっています。

セキュリティ対策が功を奏し、Google Play ストアでは、マルウェア脅威の出現はそれほど多くありません。それに代わり Google Play では、データの過剰集積によってプライバシーを侵害するアプリについての懸念が増大しています。

エフセキュアセキュリティラボのセキュリティアドバイザを務めるショーン・サリバンは次のように述べています。

「人々は、自らの情報をビッグデータに提供することになんらかの問題が伴うことは理解していますが、それでも、常にたくさんの同じような情報を、疑わしいアプリに提供しています。少なくとも Google のような企業では、データの記録や保存についてなんらかの義務が定められており、既定のプライバシー慣行が適用されています。たとえば Gmail アカウントを削除すると、個人データも削除されるといったようなことです。しかし、このような小さなアプリに関しては、個人データがどのように扱われているのか見当もつかないでしょう。どうなるか知っていますか？皆さんのデータは販売ネットワークに売られているのです。」

モバイルバンキングのトロイの木馬、マスターキーの脆弱性、モバイル脅威から個人データを保護するためのエフセキュアセキュリティラボからの提言等、第 3 四半期の脅威の展望に関する詳細については、2013 年 7～9 月モバイル脅威レポートをご覧ください。

詳細情報(英語) : http://www.f-secure.com/en/web/labs_global/

*エフセキュアの社名、ロゴ、製品名は F-Secure Corporation の登録商標です。

*本文中に記載された会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。



<http://www.f-secure.co.jp/>

エフセキュア — かけがえのないものを守る

エフセキュアは、お客様が重要なアクティビティに専念できるよう、コンピュータでもスマートフォンでも、オンラインでの保護と安全をお約束します。また、バックアップを提供するとともに、重要なファイルの共有も可能にします。エフセキュアのサービスは、200以上の通信事業者を通じて世界で提供されており、数百万のホームユーザ、ビジネスユーザから信頼を受けています。1988年創業のエフセキュアは、NASDAQ OMX Helsinki Ltd に上場しています。

エフセキュア株式会社は、エフセキュア社 100%出資の現地法人として設立され、以降、増収を続けながら順調に企業規模を拡大しており、2009年5月に日本法人設立満10周年を迎えました。

会社名: エフセキュア株式会社
カントリーマネージャ: アリエン・ヴァン・ブロックランド
所在地: 〒107-0052 東京都港区赤坂 2-11-7 ATT 新館 6F
設立: 1999年5月
事業内容: セキュリティ関連製品・サービスの販売およびサポート

本件に関するお問合せ先

エフセキュア株式会社
マーケティング部
Tel: 03-5545-8942 Fax: 03-5545-8945
Email: japan@f-secure.co.jp
〒107-0052 東京都港区赤坂 2-11-7 ATT 新館 6F
URL: <http://www.f-secure.co.jp/>
Blog: <http://blog.f-secure.jp/>